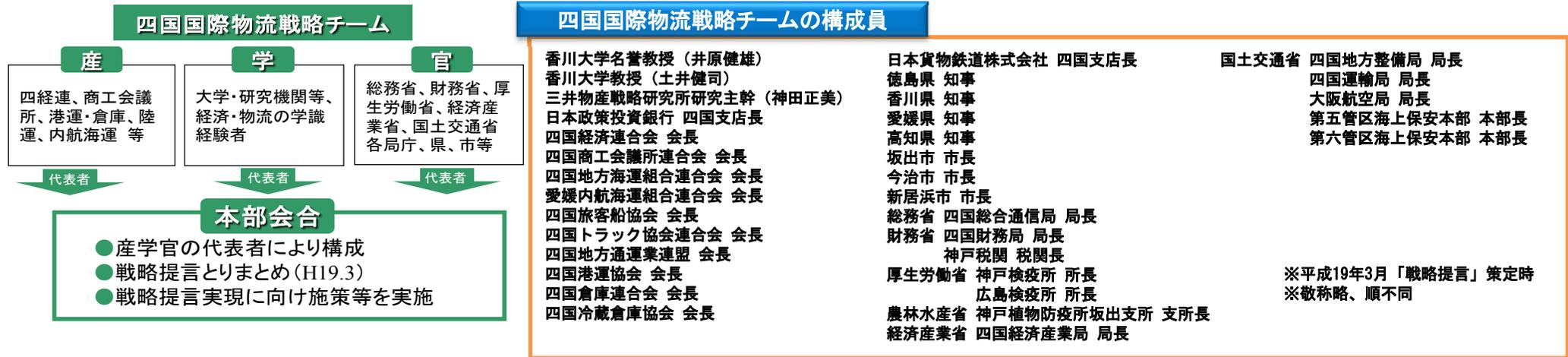


- 総合物流施策大綱(2005-2009)において、国際物流及びこれと一体を成す国内物流の効率化方策を検討する「国際物流戦略チーム」を設置し、地域の実情を踏まえた施策の推進が位置づけられている。
- 四国と世界との経済交流が拡大するなか、東アジアを始めとする諸外国との円滑かつ効率的な国際物流ネットワークを構築し、四国の産業競争力の強化を図るため、平成18年6月に四国国際物流戦略チームを発足。
- 現在、平成19年3月にとりまとめた「戦略提言」の実現に向け活動を展開している。



主な取組

- 平成18年6月 **四国国際物流戦略チームを発足**
- 平成19年3月 **戦略提言をとりまとめ**
- 平成19年度 **物流懇談会を開催(4回開催)**
- 平成21年度 **四国の外貿コンテナ貨物輸送効率化検討WGの設置**
…“地域の魅力の向上”及び“国際物流における非効率の解消”の具現化
- 平成23年度 **東日本地域等との物流・流通に関する特別部会の設置**
…東日本大震災による社会的影響について、四国と東日本地域等との物流・流通が円滑に行われるよう、関係機関が連携し情報を共有するとともに、物流・流通に関する課題への対応を図る

平成25年度の活動予定

四国国際物流戦略チームの本部会合(平成26年3月3日)を開催して、国際物流戦略チームを取り巻く最近の動き、今後の取組等についての合意形成を図る

戦略提言(平成19年3月)の概要

I. 新たな国際航路の就航、地域産業の育成・新規産業誘致等、地域の魅力向上を図るための措置を講ずる

- アジア-四国間の新規航路実現等を最優先で実施
- 国際水平分業に対応した地域産業育成・新規産業誘致
- 港湾サービスの向上、内航海運の利便性向上
- 災害時の物流インフラ機能の信頼性確保

II. 四国に立地している産業を支援するための、国際物流における非効率の解消を図ること

- 四国阪神間のフィーダー輸送の効率化など国内物流ネットワークの強化
- 主要産業を支えるバルク輸送の効率化
- 港湾、空港、道路等の機能連携強化
- アジアとの外貿コンテナ貨物の効率化